

2025年度 第4回 藤沢市立善行中学校 学校運営協議会会議録

開催日時 2026年 2月 6日（金） 10時～

場 所 善行中図書室

出席委員	<p>植木 春雄（善行地区自治会連合会会長） 亀谷 亀雄（会長・善行地区自治会連合会副会長） 人見 甲子郎（NPO 法人森の仔じゅうがっこう事務局長） 石塚 義之（善行市民センター センター長・善行公民館 館長） 佐藤 康智（善行市民センター所属） 齊藤 正枝（コーディネーター・三者ふれあいネットワーク会長・青少協会会長） 松本 美由紀（社会福祉協議会（CSW）） 渋谷 弥生（一般社団法人善行大越スポーツクラブ アシスタントマネージャー） 土肥 恵子（善行中学校前PTA会長） 高森 保明（副会長・校長） 安室 康子（教頭）</p> <p>【欠席者】 小澤 優子（善行中学校PTA会長）</p> <p>【傍聴者】 なし</p>
次第	<p>1 開 会 2 学校の様子について 校長より 3 議 題 （1）座談会の報告・反省 （2）これからのコミスクの取り組みについて （3）学校評価について （4）その他 ①新年度に向けて ②創立50周年誌</p> <p>4 その他 5 閉 会</p>
協議内容	<p>1. 第4回善行中学校運営協議会の開会 資料（配付物）確認 以下の資料の確認が行われた。 次第、学校だより、コミスク通信（2種）、藤沢市地域学校協働活動事例紹介 学校評価アンケート結果、まとめ 2025年度 地域と各学年の活動表、善行中学校コミスク組織図 卒業証書授与式（3月11日予定）および入学式（4月6日予定）の案内</p> <p>2. 学校の様子について（校長報告） 最近の学校の状況について報告があった。 ・現在、インフルエンザ等の影響で2年生が学年閉鎖中であり、本日より予定されていた授業参観は中止とした。 ・生徒会役員選挙が実施され、7名の新役員が選出された。 ・創立50周年記念講演会（卒業生による講演）や、1年生の職業体験、2年生の横浜校外学習などが行われた。 ・音楽の授業で一人一台端末を活用し、自身の演奏を撮影・フィードバックする学習が行われている。</p>

- ・ 2年生は、横浜校外学習に出かけた。東急の運転手の方や横浜の学校や施設の方に質問をし、防災対策等について学んだ。
- ・ 文芸部が、善行市民センターで行われた「善行かるた大会」で活躍させていただいた。
- ・ 6組ではキャリア学習として、6組カフェを開催した。また、藤沢市の支援級の生徒が集まり、善行の県立スポーツセンターで競技会が行われた。
- ・ 先生たちも、法政大学の先生を招いて授業研究を行っている。
- ・ 毎年のことだが、藤沢市内の中学校の生徒会本部役員がオンラインでつながって、いじめ撲滅のための取り組みについて話し合いを行っている。
- ・ 2年生が秩父宮体育館を借り切って、スポーツレクを行った。
- ・ 1年生の八ヶ岳でのスキー教室や生徒主体の運営したキャンドルファイヤー、うどん作りなどを行った。
- ・ **避難所運営ゲーム (HUG)** : 2年生が実施。「同じ地域の人同士が近くに避難する方が安心できる」という生徒の視点は、行政担当者からも高く評価された。

3. 座談会の報告 前回実施された保護者座談会について、担当者より報告があった。

- ・ **実施概要** : 中学校の保護者3名、小学校(大越小・善行小)の保護者各1名の計5名が参加。
- ・ **内容** : CSWから、地域の期間についての紹介・説明と心理士の資格を持つ委員が進行を務め、子育ての悩みや困りごとを共有。
- ・ **成果** : 非常に温かい雰囲気で行われ、**保護者同士の意見交換を行い、その意見に答える形で学ぶ機会もあり、新たな支援(フリースクールやカウンセリング)につながるなど、大きな意義があった。**また、「困っていたら頼っていいんだよ」というメッセージも伝わったのではないかな。

※ これから、トランポリン教室において、中学生が気軽に通える居場所としてのクラスを新設する動きも出ている。

4. これからのコミスクの取り組みについて (グループ協議)

来年度に向けた取り組みについて、3つのグループに分かれて協議、報告を行った。

○ 防災グループ・・・地域と連携した防災教育。

- ・ **現状と課題** : 善行地区の防災組織加入率は約40%と低く、各家庭の防災意識の向上が課題である。
- ・ **活動報告** : 昨秋の自治連主催の防災訓練に学校から数名が参加した。こうした活動の継続が大きな形になると考えている。
- ・ **今後の方針** : 防災活動は単なる座学ではなく、現地に行って人と交流しながら学ぶことが重要である。来年度、修学旅行等の学習先も、神戸などの震災学習を取り入れている。短期的な活動に留まらず、**継続性を持って防災教育を強化していけるとよい。**

○ 支援グループ・・・心理的なサポートや居場所づくり。

- ・ **座談会の継続と拡大** : 来年度も座談会を継続する。対象をこれまでの6年生から、思春期の悩み事が表面化し始める**5年生以上に拡大する案**が出された。
- ・ **小学校コミスクとの連携** : 年1回の開催では少ないという意見がある。そこで、小学校のコミスクとも連携し、年2回行うことができないか。7月ぐらいまでに、小5～中3を対象に、今年度と同じような形で行い、1～3月に善行地区全体での座談会を、午前中に小1～4年、午後小5年～中3とする2部構成で開催することを検討している。
- ・ **目的** : 地域の資源を早期に(1年生からでも)知ってもらう機会を提供し、困っている家庭を余すことなく支援することを目指す。
- ・ 前回の座談会について、小学校側から前向きな回答を得ている。

○ 行事グループ・・・小学校と連携しながら活動を継続していく

- ・ **ボランティア募集の工夫:** デジタル配信だけでは生徒の目に留まりにくいため、カラーチラシの掲示や SNS の活用を検討する。
- ・ **ボランティア証明書:** 「ボランティア証明書」の配布を学校でも宣伝し、生徒が参加しやすい雰囲気作りを行う。
- ・ **地域との連携:** 公民館で勉強している生徒に対し、プレッシャーにならない形でチラシを置かせてもらうなど、周知を工夫する。また、文芸部の人数減少に伴い、カルタ大会の一般募集も検討していく。

2. 学校評価について

- ・ **全体傾向:** 保護者・生徒の評価は総じて上昇傾向にあり、両者の評価がシンクロしてきている。
- ・ **教職員の自己評価:** 生徒・保護者に比べて教職員の評価が厳しい（低い）傾向にあるが、これは教職員の理想の高さと責任感の表れでもある。
- ・ **学習評価（成績分布表）:** 保護者から分布表の要望があるが出していない。これは、現在は相対評価ではなく「絶対評価（観点別評価）」であるため、他者との比較ではなく、本人が目標に対してどこまで達成したかを重視する方針であるため。
- ・ **相談体制と支援:** 生徒が先生を「忙しそう」と気遣い、相談を躊躇するケースがある。従来の「指導」から、生徒に考えさせる「支援」へのシフトを進めている。
- ・ **深刻な記述への対応:** アンケートの自由記述に深刻な訴えがあった場合、学校評価アンケートは無記名のため個人の特定は難しいが、別途実施している「生活アンケート」等を通じて生徒の状況を把握し、フォローに繋げている。

3. 次年度に向けておよびその他

- ・ **制服・校章の変更:** 創立 50 周年を機に制服が変更された。校章については、新標準服にエンブレムが付いたこと、価格の高騰を受け、新 1 年生からは購入しない方向で進める。
- ・ **新体制:** 来年度も亀井会長、齊藤コーディネーターの体制で継続する。
- ・ **委員の交代:** 植木氏、土肥氏が今期で退任。次年度は新メンバーを委員に迎える予定。
- ・ **50 周年記念誌:** 現在作成中であり、完成次第、生徒および委員へ配布予定。
- ・ **次回日程:** 第 1 回の日程は案として提示。2 回目以降は、学校行事との調整により変更の可能性がある。

以上

次回開催日程 2026 年 5 月 13 日（火）10 時～
場所 図書室